

第5節 遊水地課

〔総括概要〕

遊水地課の主な分掌事務は、渡良瀬遊水地に係る企画・調整、普及・啓発、遊水池会館管理及び環境保全・ワイズユース関係である。

渡良瀬遊水地に係る企画・調整については、渡良瀬遊水地におけるシンボル施設として、交付金を活用しながら、藤岡スポーツふれあいセンターを総合的な案内機能を有する施設にするための改修、整備を行った。また、近隣市町との連携による三県境の遊歩道等整備、日本遺産認定申請のほか、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議や渡良瀬遊水地保全・利活用協議会などの庁外の各種会議に参加し、他自治体などと連携、調整を行った。

渡良瀬遊水地の普及啓発については、ラムサール条約登録記念日を中心としたPR活動の実施、講演会の開催、各種イベントへのPRブースの設置等、幅広い層の方に対して渡良瀬遊水地に親しみを持ってもらえるような事業を行った。また、シンボル施設の整備にあたっては、栃木女子高等学校美術部の協力のもとフェンスのイラストに渡良瀬遊水地のキャラクターを活用した。

環境保全については、渡良瀬遊水地の現状を把握するための生態系調査として、植物の現地調査を行った。また、希少植物保全のための外来植物除去活動、絶滅危惧種復活プロジェクト等の活動を行った。そのほか、ヨシ原内の害虫駆除、樹林化防止等のため、ヨシ焼きを行った。

ワイズユースについては、渡良瀬遊水地の利活用を促進するため、人材育成として渡良瀬遊水地ボランティアガイドやヨシ細工指導スタッフなどの養成講座を行ったほか、環境学習やスポーツなど渡良瀬遊水地を活用して行われるイベントを実施した。また、渡良瀬遊水地の様々な資源や環境の保全に取り組む“守り人”として行動し、未来につなげる活動を推進するため、会員組織のファンクラブである渡良瀬ナイトクラブの運営を行った。

企画調整係

1 渡良瀬遊水地に係る企画・調整

(1) 渡良瀬遊水地シンボル施設整備

藤岡スポーツふれあいセンターを、渡良瀬遊水地の基本計画である「渡良瀬遊水地ハートランドプラン」に位置付けられている、各種情報発信や利活用の紹介などの総合的な案内機能を有するビジターセンターとして再整備するため、施設の改修、整備を実施した。また、利用者の利便性、安全性の向上のため、施設北側市有地の駐車場整備を実施した。

(2) 三県境周辺整備

三県境への来訪者の安全性と利便性の向上を図るため、埼玉加須市、群馬県板倉町

と連携し、遊歩道及び交点付近の整備を実施したほか、周辺に誘導案内看板を設置した。また、担当者会議を継続して開催し、利活用の検討を行った。

(3) 日本遺産認定に向けた取組み

文化庁が認定する日本遺産に、「水を克服し、水との生き方を選んだ人々の知恵が生きる 本州最大の湿原渡良瀬遊水地」と題したストーリーを作成し、栃木市、小山市、野木町、茨城県古河市、埼玉県加須市及び群馬県板倉町の遊水地周辺4市2町名で申請した。

(4) ラムサール条約登録湿地関係市町村会議

「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議」において開催されたラムサール条約登録湿地関係市町村会議主管者会議に出席した。

また、環境省により同日開催されたラムサール条約推進国内連絡会議に、ラムサール条約湿地関係自治体代表として出席した。

ラムサール条約登録湿地関係市町村会議主管者会議及び交流・学習会

- ・実施日 10月12日（木）～10月13日（金）
- ・会場 来楽里ホール（宮城県大崎市）
- ・参加市町村 ラムサール条約登録湿地50か所のうち20か所33市町村

(5) 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

渡良瀬遊水地に関する自治体や国、自治会、治水団体、利用者団体、環境保護団体など44の構成員からなる「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」において、各団体の情報共有・意見交換を行ったほか、ラムサール条約湿地登録5周年を記念して、シンポジウムの開催、ラムサール記念カードの発行、配付を行った。

また、協議会の下部組織である部会を開催し、栃木市が部会長となっている「賢明な利活用及び地域振興検討合同部会」では、アクセス道路のネットワーク化や遊水地内の案内看板について検討し、関係する道路管理者あて要望書を提出した。

第5回渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

- ・実施日 8月2日（水）
- ・会場 藤岡遊水池会館 大会議室
- ・参加団体数 33団体

ラムサール条約湿地登録5周年記念シンポジウム

- ・実施日 7月1日（土）
- ・会場 藤岡文化会館
- ・内容 ログマーク表彰式、基調講演、パネルディスカッション

2 渡良瀬遊水地の普及啓発

(1) ラムサール条約登録記念日、PR強化月間

渡良瀬遊水地がラムサール条約に登録された7月3日を、ラムサール条約登録記念日、7・8月をPR強化月間として、各種PR活動を行った。

- ・栃木市役所 本庁舎への懸垂幕の掲示
- ・栃木市内公共施設へののぼり旗の掲示
- ・7月2日（日）ヨシ紙ハガキ作りなど各種体験が楽しめる「ヨシ紙ハガキで暑中見

舞いを送ろう！」の開催（参加者11組33名）

- ・7月15日（土）本庁舎1階市民スペースにおいて、フォトコンテスト巡回展にあわせて「ミニよしず作り体験」の開催（参加者 10人）
- ・7月18日（火）～8月5日（土）の毎週火曜日、木曜日、土曜日（全9回）に「渡良瀬遊水地ぐるり旅」の開催（参加者 66人）

(2) エコライフinとちぎ～渡良瀬遊水地講演会～

環境課との共催事業として大平文化会館において「エコライフinとちぎ」を開催し、広大で自然豊かな渡良瀬遊水地から広がる環境保全活動について啓発を行うため講演会を同時開催した。また、ロビー、ホワイエでは、渡良瀬遊水地に関係する市民団体による活動の広報、展示を行ったほか、渡良瀬遊水地で生育しているヨシを使用したヨシ細工品の展示や、栃木市が作成した渡良瀬遊水地の絵本『ハートランドのかくれんぼ』などの販売を行った。

- ・実施日 2月17日（土）
- ・会場 大平文化会館
- ・来場者数 1,000人
- ・渡良瀬遊水地講演会

「水の惑星に生まれて」～美しい自然を未来につなぐ～

(3) エコライフ・フェア2017へ出展

渡良瀬遊水地の普及啓発に資するため、環境省主催『エコライフ・フェア2017「湿地の恵み展～ラムサール条約湿地の観光と物産」』に職員6人を派遣し、2日間に渡りPR活動を行った。ポスター掲示及びチラシ設置の他、キャラクター着ぐるみによるPR、ミニヨシズ作り体験を実施した。

- ・実施日 6月3日（土）～4日（日）
- ・会場 代々木公園（東京都渋谷区）

(4) 渡良瀬遊水地PR活動

渡良瀬遊水地の周知を図るため、各イベントで普及啓発ブースを設置し、パネル展示やチラシ配布等を行い、PR活動を行った。

ア 藤岡さくらまつり

- ・実施日 4月8日（土）
- ・会場 藤岡渡良瀬運動公園

イ 部屋南部桜つつみ桜まつり

- ・実施日 4月22日（土）
- ・会場 部屋南部桜つつみ公園

ウ 藤岡ふくしまつり

- ・実施日 10月15日（日）
- ・会場 藤岡公民館駐車場

エ ふじおか産業祭

- ・実施日 11月18日（土）
- ・会場 藤岡遊水池会館駐車場

(5) 渡良瀬遊水地キャラクターの利用促進

渡良瀬遊水地シンボル施設の整備の際に、駐車場側フェンスに渡良瀬遊水地のキャラクターを使用した。キャラクターの作画は、栃木女子高等学校美術部の生徒に依頼し、地域に訪れた方へのおもてなしをイラストで表現した。

(6) 渡良瀬遊水地キャラクターの着ぐるみによるPR活動

平成26年度制作したHearts^{ハーツ}姫、Watarase^{わたらせ}712^{セナイツ}の2つのキャラクターの着ぐるみで栃木市内及び渡良瀬遊水地周辺の市町で開催されたイベント等に出演し、渡良瀬遊水地及びハートランドのPR活動を行った。

3 藤岡遊水池会館管理

(1) 施設管理

市民交流の場として渡良瀬遊水地情報コーナーの充実を図り情報発信に努めた。また、建物及び駐車場、施設内設備・物品の維持管理を行った。

(2) 施設の貸館状況

大会議室の貸館を行っているほか、一部を一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団に貸付を行っている。

使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
287	6,356	105,950

環境保全ワイズユース係

1 渡良瀬遊水地保全活動

(1) 希少植物保全のための外来植物等除去活動の実施

渡良瀬遊水地には多くの希少植物が生育しているため、この豊かな生態系を保全する必要性を広く周知することを目的に、植物の専門家による指導のもと、外来植物等除去活動による希少植物保全活動の参加者を募り実施した。

実施日	場所	参加者	保全植物
4月22日(土)	渡良瀬遊水地 第1調節池内	13人	ノジトラノオ
5月20日(土)	渡良瀬遊水地 史跡保全ゾーン	61人	ハナムグラ他
6月11日(日)	渡良瀬遊水地 第2調節池内	25人	ジョウロウスゲ
7月2日(日)	渡良瀬遊水地 第1調節池内	6人	ノジトラノオ

(2) 渡良瀬遊水地生態系現地調査業務

渡良瀬遊水地は国指定の絶滅危惧種を含む希少植物が多く生育する豊かな自然環境にあるが、その生育環境が悪化している場所も見受けられる。ラムサール湿地登録後の生態系調査を行い、今後の保全活動に向けた施策に供するため、生育の状況や環境についての必要な調査をし、生育位置図などの資料を作成する委託業務を実施した。

(3) 渡良瀬遊水地絶滅危惧種復活プロジェクト

かつては植生が確認できたが、今では確認することができなくなった絶滅危惧植物のミズアオイの再生に向けた取り組みを実施した。

(4) ヨシ焼き

害虫の駆除、樹林化の防止及び治水容量を保つため、渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会主催のもとヨシ焼きを実施した。ヨシ焼きは、野火や放火などの火災防止となるほか、多くの貴重植物などの発芽・生育を促進し、遊水地固有の豊かな自然環境の保全にも寄与している。

- ・実施日 3月17日（土）
- ・関係者数 約880人
- ・見学者数 約6,000人
- ・焼却面積 900ha（6割）

2 渡良瀬遊水地利活用

(1) 人材育成

ア 渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座

講座	実施期間	内容	会場	人数 (人)	回数
初級	4月29日（土） ～2月3日（土）	植物・昆虫・鳥 類等	体験活動センター わたらせ 他	9	11回
中級	4月29日（土） ～2月24日（土）	ボランティアガ イド実践等	体験活動センター わたらせ 他	22	10回

イ ヨシ細工指導スタッフ養成講座

- ・実施日 10月～3月の第3水曜日
- ・内容 ヨシの生育について、ヨシ細工の制作方法等
- ・会場 遊水池会館 他
- ・参加者 3人
- ・回数 6回

ウ 熱気球係留スタッフ養成講座

- ・実施日 9月～3月の熱気球イベント開催日
- ・内容 熱気球係留の準備
- ・参加者 2人
- ・講師 （一社）栃木市熱気球クラブ

エ カヌースタッフ養成講座

- ・実施日 5月～11月の渡良瀬カヌークラブ活動日
- ・内容 カヌーに関する技術習得
- ・参加者 5人
- ・講師 渡良瀬カヌークラブ

(2) 渡良瀬遊水地ガイドクラブ発足後の支援

渡良瀬遊水地ガイドクラブの活動に必要な資料及び物品の準備など組織運営の支援を行った。また、ガイド申込書の受付業務も行った。

- ・ガイド案内実績

	谷中湖周辺	遊水池会館	合 計
日数（日）	165	109	274
従事者延べ人数（人）	309	239	548
利用者数（人）	3,642	3,024	6,666

(3) 環境学習

ア 親子水辺教室（ラムサール条約登録記念日事業）

- ・実施日 7月23日（日）
- ・会場 体験活動センターわたらせ
- ・内容 Eボート体験、ミニヨシズづくり、ヨシ紙すき
- ・参加者 35人（11組）

イ ツバメのねぐら入り観察会（ラムサール条約登録記念日事業）

- ・実施日 8月17日（木）雨天のため中止
8月20日（日）21人参加
- ・会場 渡良瀬遊水地

(4) スポーツ活用

ア Eボートレース2017渡良瀬大会

- ・実施日 8月19日（土）雨天のため中止
- ・会場 谷中湖（北ブロック）
- ・主催 Eボートレース渡良瀬大会実行委員会
- ・後援 国土交通省
- ・申込み 36チーム

イ 渡良瀬遊水地フェスティバル2017

- ・実施日 9月3日（日）
- ・会場 谷中湖（北ブロック）
- ・主催 渡良瀬遊水地フェスティバル実行委員会
- ・来場者 約23,000人
- ・内容 自転車競技のタイムトライアル、スカイスポーツやウォータースポーツの展示や体験等

ウ ORGABITS RUN（オーガビッツラン）

- ・実施日 10月28日（土）
- ・場所 藤岡渡良瀬運動公園
- ・共催 ORGABITS RUN実行委員会
- ・参加者 624人

(5) 第18回渡良瀬遊水地フォトコンテスト

- ・主催 渡良瀬遊水地フォトコンテスト実行委員会
- ・後援 下野新聞社ほか
- ・賛助 （一社）関東地域づくり協会
- ・応募者 183人（603点）
- ・入賞作品 最優秀賞1点、優秀賞1点、準優秀賞2点、入選8点、特別賞8点

佳作20点

- ・展示会場 渡良瀬遊水地湿地資料館ほか

(6) 「渡良瀬ナイツクラブ」の運営

治水や利水、自然、歴史、レジャー・スポーツなど様々な要素を持つ渡良瀬遊水地をより良く活用するために行動し、“守り人”となり渡良瀬遊水地を保全し続け未来につなぐことを目的とした会員組織のファンクラブを運営した。

- ・会員数 一般会員 118人
特別会員 5人
サポート店 3店
- ・ナイツクラブ通信発送回数 7回